

# 新型コロナウイルス感染症について

～うつらないために、うつさないために～



## ★まずは手洗い、咳エチケット

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の手洗い、咳エチケットの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

### 【手洗い】

ドアノブや電車のつり革などさまざまなものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

### 【咳エチケット】

咳エチケットとは、感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。咳やくしゃみの飛沫により感染症を他人に感染させないために、咳エチケットをお願いします。

厚生労働省HPより抜粋

## ★「3密」を避けてください

集団感染が生じた場の共通点を踏まえると

- 1.密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
- 2.密集場所(多くの人々が密集している)
- 3.密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)

という3つの条件が同時に重なる場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。部屋をこまめに換気しましょう。また、換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。



## 新院長のご紹介

60年の歴史を持つ永生病院は地域で安心して過ごしていけるよう地域包括ケアシステムを永生会だけではなく地域の病院や施設、在宅サービスと協力し期間病院として支えてきました。永生病院を利用した方がまた利用したいという思い出づくりが出来るようハートフルな職員育成をおこなってまいります。ご支援をよろしくお願いいたします。



永生病院  
院長 飯田達能



みなみ野病院  
院長 田中讓

「この地域に求められていること」を常に考えながら、中長期的治療、リハビリテーション、緩和医療の提供を通じて、患者さまならびにご家族様が住み慣れた地域で安心して生活できるようにご支援させていただきます。家族のように「寄り添う医療」を職員一同実践していきます。



クリニックグリーンガラス  
院長 加塩信行

永生会では、南多摩病院での経験、永生病院での経験、救急から在宅、また災害医療支援などに従事してまいりました。この度、クリニックグリーンガラスの院長に就任し、今後は、主に退院後のフォローを担ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。